

本年度は、金山・下金山地区簡易水道配水管の老朽化しました下金山小学校前国道237号及びJ R踏切の埋設管の布設替を行うための調査設計費の予算を計上いたしました。

継続事業として北落合地区簡易水道施設の配水管更新工事、各地区メーター器取替工事にかかる所要の予算を計上いたしました。

公共下水道事業

公共下水道事業については、整備が概ね完了しましたので、今後は、下水処理場をはじめ、各施設の適正な維持管理により、処理能力を保持するための予算を計上いたしました。

公共下水道区域以外の環境保全と快適な住生活の向上に向け、継続し実施しております合併処理浄化槽設置整備に対する助成について、本年度は1戸分の予算を計上いたしました。

自然環境の保全

本町は、広大な森林と清らかな水など優れた自然環境に恵まれた地域であり、その象



川での環境教育の授業の様子

徴的存在として「かなやま湖」にはイトウが生息しております。このイトウを町民共有の財産として次世代に継承することを目的に、平成21年4月に「南富良野町イトウ保護管理条例」を制定しましたが、本年度も引き続き適正な管理に努め、イトウの個体数の保護と町内小中高等学校児童生徒へのイトウを通じた環境教育の更なる充実のため、所要の予算を計上いたしました。

また、本年度も、フォレストタウン記念植樹祭、北海道日本ハム球団現役プロ野球選手を招いてのアオタモ記念植樹や野球教室、滝川市ボラン



フォレストタウン記念植樹の様子

ティアグループとの水源の森創造交流会を開催するとともに、「山川草木を育てる集い」南富良野協会の皆さんにより「エンジンバラ公の森公園」の環境整備活動を支援し、自然環境の保全に努めてまいります。

環境衛生

環境衛生では、一般廃棄物最終処分場と小動物焼却施設は、指定管理制度に移行することとし、収集運搬業務も両施設の附属する業務として一体化し、町の指定管理条例に基づく指定管理制度に移行することといたしました。

ごみ処理についてはより一

層の減量化やリサイクルの推進が求められていることから、町民皆さまの理解と協力を得ながら、分別の徹底及び減量化に努めてまいります。

一般ごみ処理費の有料化につきましても、その状況の推移を見ながら検討してまいります。

消防の充実と強化

消防施設であります、電波法改正に伴い、現在使用しているアナログ方式の消防救急無線通信機器のデジタル化につきましては、平成28年度からの運用開始に向け、本年度は実施設計を実施し、平成26・27年の2カ年で無線通信機器の整備を行い、消防体制の充実に努めてまいります。

装備については、年次的に整備に努めておりますが、本年度は長時間の救急活動に対応する空気呼吸器用ポンペを購入する所要の予算を計上いたしました。

救急業務の傾向は、高齢化の進展や疾病構造の変化等、複雑多様化の一途をたどっており、救急隊員の資質向上はもとより、救急車が到着する

までに救命処置が講じられるよう、各地区にAEDを設置しましたので、住民に対しての救命講習の普及啓発を計画的に推進してまいります。



各地区に設置されているAED

防犯と交通安全

防犯についてであります、全国的に暴力団排除の機運が高まっていることから、本町においても昨年「南富良野町暴力団排除条例」を制定したところでありますが、住民皆さまとともに、安全で平穏な生活や社会経済活動に努めて



交通安全啓発活動の様子

まいりたいと考えております。

交通安全対策については、富良野警察署など関係機関・団体と連携を密にしまして、悲惨な交通事故が起きないように効果的な交通安全対策を展開してまいります。

消費生活

消費生活については、規制緩和や高度情報化などにより利便性が向上した反面、特に高齢者など社会的弱者をターゲットにした悪質な訪問販売や電話、インターネットを利用した通信販売の被害が依然として後を絶たない状況となっております。

消費者が安全で安心な消費生活の環境が保たれるよう本年度につきましても富良野沿線5市町村の広域的消費生活相談窓口である「富良野市消費生活センター」による相談体制や広報誌などを通じた情報提供による消費者意識の啓発に取り組み、消費者保護に努めてまいります。

学ぶ力・健やかな体
・豊かな心を育む
まちづくり

次に、教育・文化分野で「学ぶ力・健やかな体・豊かな心を育むまちづくり」であります。

教育施策につきましては、学びのための環境を整えることが重要な課題と認識しておりますが、教育長から「教育行政執行方針」がこの後示されますので、私は財政措置を通じて教育行政を支える立場から、主要な事項について申し上げます。

小学校のあり方

小学校のあり方と小学校の耐震化につきましては、昨年7月に教育委員会が示しまし



本年度改築する幾寅小学校校舎

た方針について、各地区のご理解をいただきましたので、国の平成24年度予算の繰越明許費により、平成25年度中に幾寅小学校校舎を改築し、平成26年4月から北落合落合・幾寅の3校が統合します新たな小学校として、開校を目指し進めてまいります。

また、各小学校が統合校へスムーズに移行できるよう統合推進委員会を設置し、保護者更に地域の方々のご意見を十分に反映できるよう準備を進めてまいります。

また、平成27年度の下金山小学校校舎の改築に向け、本年度は耐力度調査を実施し、平成26年度に実施設計を行う予定で進めてまいります。

子育て世代の支援

私は、昨年町長選挙において、多くの方々との対話の中で、保護者の経済的負担の軽減と安心して子どもを育てられる環境づくりは、若い世代が住み続けられるよう施策を積み重ねていく必要があると強く感じたところであります。

現在行っております大学生

以下の医療費無料化などと併せた新たな子育て世代の支援策として、成長期にある児童生徒の体位向上と健康増進に重要な役割を果たしている食生活について、正しい知識と食習慣を身につける食育に関する「生きた教材」として大切な役割を持つております学校給食について給食費の無料化や、更に南富良野高等学校で実施しております各種資格の取得に要する検定料等の費用支援を、本町から町外の高等学校に通学する在学生にも対象を拡大する制度の創設について、今後も議員各位のご理解をいただき実施に向けて、努力してまいります。

南富良野高校

昨年23人が入学した南富良野高等学校は、本年度も積極的な学校案内活動等により、27人の入学志願者を確保したところであります。

今後も、中学校卒業生徒数が減少し、厳しい状況が継続することから、本町の地域性や時代要請に応え、生徒にとって付加価値の高い教育の実践を目指す学校づくりに必



南富良野高校見学・説明会の様子

要な所要の予算を計上いたしました。

社会教育施設の充実

社会教育施設の整備では、金山地区コミュニティセンターは地域住民の高齢化と生活様式の変化に対応するため、トイレを洋式化する改修工事の所要の予算を計上いたしました。

交流事業

沖縄県本部町との子ども達の交流は、平成25年度で23回目となりますが、町内児童の親善訪問交流を継続し、両町の絆を更に深めるための必要